

自己紹介



4月1日付けでセンターに参りました長須です。地元土浦市在住ですが、霞ヶ浦関連の仕事は初めてです。霞ヶ浦の湖岸から離れていましたが、小さな頃から霞ヶ浦との様々な縁や思い出の中で育ちました。昭和34年秋に、それまで陸稲しかできなかった神立上砂地区で、念願の霞ヶ浦の水で栽培した米が食べられるようになり、その春に亡くなった祖父に米を食べさせたかったと残念がっていた両親。まだプールが近くに無かった小学校時代、決まって家の前の霞ヶ浦からの水が流れている狭い用水路で泳いでいた夏休み。中学時代には舗装もされていない10キロの遠道を友達と自転車で沖宿水泳場まで泳ぎに来て、婦人会の方からもらったおやつわかさぎの塩辛い味。霞ヶ浦とのつきあいがほとんどなくなった、その後の長い空白期間。つきあいがまた復活して、平成4年に職場の仲間5人とやっと買った23フィートの中古ヨットでの湖上迷走。昨年秋に偶然、80になる父親と初めて体験したセンター関連のウォーキングの際に湖岸から眺めた湖上の風景などなど。

私にとって関わりが中断していた昭和40年代半ば以降の霞ヶ浦は大きな環境変化が進行していた時期であり、昨今の状況を見る時ノスタルジックな思い出ばかりにひたっていられないのが残念です。

当センターは平成17年4月の設立から5年、霞ヶ浦の水質浄化を目的に調査研究、環境学習、市民活動との連携・支援、情報発信等、様々な活動が展開されております。5年を一区切りとすれば、6年目の今まさに、新たなステージへ踏み出す時期に、センターの仕事に関わることになり、責任の重さに緊張する思いです。これまでセンター運営に関わられた皆様の実績の上に、引き続き、パートナーの皆様方はじめ多くの方々と共にセンターの活動充実に向けて努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。
(副センター長：長須 喜一)

企画部会報告「パートナー霞ヶ浦講座」

パートナー企画部会では、皆さんにパートナーとして活動する際に、必要となる霞ヶ浦に関する知識を習得することで、センター利用者に対し、より良いサービスを提供できるようにするため「パートナー霞ヶ浦講座」を開催することにいたしました。

今回の講座は霞ヶ浦全般について合計7回（累計17時間）に亘り開催されます。テーマごとに分けて講義を聴くことが出来るのはなかなか無いことなのでぜひ出席していただければと思います。全テーマに出席できればベストですが、テーマを選択して出席されてもよいと思います。

第1回目が5月22日に開催され、27名と多くの方が出席されました。まだ第1回目ですが目的は達成されているものと思います。毎回アンケートを取ってよりよい講座にしていきたいと思っていますので協力お願いいたします。第1回目のアンケートの一部を紹介いたします。

- ① スライド等視覚に訴える方法も使ってみては
- ② 途中質問等をはさみながら双方向の講座であってもよいと思います
- ③ 講師の声が聞きづらかった
- ④ パートナー全体のスキルアップには、役立ったと思います
- ⑤ 難しいお話でした
- ⑥ パートナー講座を続けてほしい

上記のアンケート結果を真摯に受け止め、2回目以降に反映して行きたいと思います。

回	プログラム名	実施日及び時間
1	霞ヶ浦の概要	平成22年5月22日 (土) 10:00~12:00
2	霞ヶ浦の歴史と地形	平成22年7月3日 (土) 10:00~12:00
3	霞ヶ浦と植物	平成22年7月24日 (土) 9:30~12:30
4	霞ヶ浦と魚類	平成22年9月4日 (土) 9:30~12:30
5	霞ヶ浦と野鳥	平成22年10月2日 (土) 9:30~12:30
6	霞ヶ浦と水の中の小さな生物	平成23年1月29日 (土) 10:00~12:00
7	霞ヶ浦の水の浄化	平成23年2月5日 (土) 10:00~12:00

『パートナー霞ヶ浦講座』のプログラム詳細については、全パートナーの方々にすでにご案内していますので参照ください。

(企画部会：栗原)

ご近所探訪（４） 手野町六古寺の石造物を訪ねる

土浦市手野町は大部分が広い蓮田とその北側の台地上の畑地からなる地区だが、ここには古くから「手野二社六カ寺」と呼ばれた寺社がある。今回はこのうちの6寺院を廻り、特に数百年の寺歴に関わる石造物などを訪ねる。

6寺の内の5つは、土浦市街から当センターへ向かう県道118号（石岡田伏土浦線）沿いに並び、1寺のみ、かすみがうら市へ抜ける国道354号線の手野坂左手奥にある。寺名を列記すると、西から、「法光院」、「薬王寺」、「常福寺」（以上真言宗）、「専光寺」（浄土宗）、「空禅寺」（時宗）、「正東院」（真言宗）。

6寺に共通してあるのが門前の標石。それぞれの寺院名と各寺の主尊地藏菩薩を示す梵字が、高さ70cm余りの石柱に刻まれている。いずれも、常福寺の住職だった法印雄瑞が、享和二戌年（1802）に建立したもので、標石の側面に刻印されている。江戸時代の後期、法印雄瑞が、このあたりに信仰上の強い影響力を持っていたと思われる。

一つひとつ標石を確認していくと、一番西の法光院は、JR常磐線脇の高台に残る手野城址に建ち、石柱は入口の石段下にある。寺名と枳里（きさと）地藏（餓鬼道）の梵字が刻まれている。この標石には他にも「かしま なめ加た 道」とも刻まれ、ここを通る鹿島街道の道標としての役目も果たしている。

118号線へ戻って薬王寺。梵字の主尊名は黒衣地藏（地獄道）。裏手の墓地敷地内には、古墳時代前期のものと思われる「王塚」（前方後円墳 全長84m）、「后塚」（前方後円墳 同54m）の大型古墳2基が眠っている。

次が常福寺。標石の梵字名は天華地藏（天道）。境内には雄瑞の墓もあり、丸い墓石には雄瑞の名と五輪塔が線刻されている。かたわらには、きれいに形を残す寶篋（ほうきょう）院塔もあり、墓石の製作者と思われる「土浦中城町 石工 庄助」の名も彫られている。

次が専光寺。いかにも無住でかなり荒れているが、寺名と天月地藏（畜生道）の標石はきちんと確認できる。狭い境内には無縁仏群と愛宕神社が祀られている。以前来た時にはきちんと建っていた鳥居が、倒れてかたづけられていた。

次が空禅寺。標石の梵字は人福地藏（修羅道）。この寺の開山は古く、鎌倉末期の正中二年（1325）、覚阿上人によると寺伝にあるそうだ。この時代は一般に神仏習合の流れで、特に熊野信仰との関わりが深く、熊野の本地が弥陀であるところから、山院号は熊野山阿弥陀院。本堂の手前左手には、室町時代後期の「六地藏石造燈籠」{石幢（せきとう）}が一基。さらに、その火輪の形状などから室町期の作とみられる17基の「石造五輪塔群」があり、いずれも土浦市指定文化財となっている。



正東院の一字一石経塚

最後は正東院。寺院名と書衣地藏（人道）の標石は山門の左にある。裏手の共同墓地には、「一字一石経塚」（石造供養塔）がある。川砂利に一字ずつ経文を写経して地下に埋め、供養したもので、正徳五年（1715）の建立。こちらも土浦市指定文化財。

標石の中には四国八十八か所の写し番が刻まれているものもあり、江戸後期に西国霊場巡りが盛んだった時代背景を写している。200年以上を経た今、寺勢と庶民の営みが垣間見られるようで興味深い。

2神社については、次の機会とする。

（図書G：細谷）



常福寺の標石

夏の日のご過ごし方

こんにちは。文献資料室担当の菱沼です。

夏を迎え暑い日が続いていますね。暑さに弱い私は若干気分も沈みがちですが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか？

上手に気分転換できていますか？

この時期は外に出るのが億劫になってしまうことってありますよね。そんな時は、「夏」に関することについて書かれている本など読んでみてはいかがでしょうか？

日常では当たり前前の現象であっても意外と知らないことは多いものです。新しい発見によって夏の日のお散歩が楽しくなる。そういうことがあるかもしれません。

そんな風に、今までとは違った視点から物事を考え、それを次の興味へとつなげ、尽きることのない好奇心を育む。これこそが読書の醍醐味と言えるのではないのでしょうか。

文献資料室では環境図書は勿論、夏休み用の児童書もたくさん所蔵しています。まだ立ち寄ったことのない方は、ぜひいらしてみてください。

（文献資料室：菱沼）

平成 22 年 4 月 植物グループ「湖岸植物 定点観察」パートナー活動の抄録

(植物Gリーダー：有吉)

【A・B区 観察の概況】 観察日：2010-4-30(水)

春、植物は「芽生え」の季節。A区観察指定植物のヨシ、ジョウロウスゲ、シロネ、オギ、スイカズラ、サジオモダカ、タコノアシ等が芽生えています。人工池畔ではウキヤガラ、ヨシ、フトイ、ガマ等が我が世の春と生育しています。



ヨシ (イネ科) タケノコ状の芽生えがあり、1メートル程になった。



タコノアシ (ベンケイソウ科) 手前は枯れた茎。その根元に新茎が出た。



サジオモダカ (トゲナガ科) 北池の小池だけに5株ほどが生育している。

【E・F区 観察の概況】 観察日：2010-4-28(水)

ヤナギの仲間の花や実の時期でした。葉より先に花が開くものと、葉と同時に花が開くものがあります。ヤナギは雌雄異株です。雄株には雄花が、雌株には雌花が付きます。



カワヤナギ(♀) 実が熟すと白い毛に包まれた種が出てきます(柳じよ)。



アカメヤナギ(♂) 小さな雄花の集まりです。雄花は6個の雄しべ。



アカメヤナギ(♀) 雌花穂は雄花穂より短い、花穂の基に数枚の葉が付く。

【G・H区 観察の概況】 観察日：2010-4-28(水)

ノアズキは昨年の枯れた鞘しか見つからず芽生えは未だ。ミクリ、サクラタデ、シロバナサクラタデは芽生えたところ、ヤナギトラノオ、ショウブは蕾。ノウルシは花の最盛期であった。



ヤナギトラノオ 県絶滅種。なぜ霞ヶ浦湖畔に？蕾を沢山つけている。



ノウルシ 雄花の下の葉は3枚、雌花の下の葉は2枚です。



ショウブ 蕾があったが1個体のみ。

平成 22 年 5 月 植物グループ「湖岸植物 定点観察」パートナー活動の抄録

(植物Gリーダー：有吉)

《A・B区 観察の概況》 観察日：2010-5-26(水)

5月は植物にとり、繁茂する時期。 定点観察中、一生懸命オオヨシキリもさえざる。

A区再生地は「水辺ふれあい事業」や「霞ヶ浦グランドワーク」の作業が入り、大方の地形や植生が変わった。



スイカズラ 花の色は咲はじめは白ですが、やがて黄色に変色する。



ウキヤガラ 枯れた茎が水に浮かぶ姿を矢がらに例え、この名が付く。



ジョウロウスゲ 絶熱危惧Ⅱ類
高尙に見える果穂が名前の由来。

《E・F区 観察の概況》 観察日：2010-5-26(水)

ノイバラ、スイカズラ、クサイが花盛りです。ヤナギの仲間は若葉が次々と開き、順に濃い緑色になっています。開花の遅かったアカメヤナギが種を飛ばす季節となりました。



ノイバラ ノイバラの花が湖岸を美しく飾っていました。



アカメヤナギ 実が二つに割れて中から毛に包まれた種が出てきた。



オニグルミ 小さな果実が秋には堅い殻で守られたクルミになる。

《G・H区 観察の概況》 観察日：2010-5-26(水)

見通しのよかった湖岸の湿地は草や木の葉が繁り、緑も濃くなります。湿地の春植物であるノウルシはヨシが大きく生育する前に花を咲かせて実を付けます。



ヤナギトラノオ 県絶滅種だが？
5月中旬頃ブラシ状の花が見事です。



ノウルシ 準絶滅危惧種。いぼいぼの付いた実が。折れ口の乳液でかぶれる人も。



ヤセウツボ 帰化植物。マメ科植物などに寄生。

「果実酒造りにはまっています」続編

確か、昨年この時期でしたか「果実酒造り」について寄稿しましたが早いもので一年が過ぎ、その季節になってしまいました。その後、今年に入りユスラウメ、クワの実、グミも加えて現在 20 種類となり、専用の棚を買い求め収納しています。先日奥さんからの「これ以上はやめてください」とのクレームも軽くないし新規開拓に胸をときめかしています。

今年は少し趣向を変えて、従来のホワイトリカーと氷砂糖の組合せから白ワインとグラニュー糖の組合せにしました。なぜなら私は 35 度のアルコールなどとても飲めませんので、アルコール 10 度のワインなら、多少味見ぐらいはできるかと考えトライしました。

実は先日 8 ヶ月過ぎたブルーベリー酒の実を取り出した際、3,4 粒食べたらよい気持ちになってしまい、これは駄目だと感じワインにした次第です。さて今回は続編としてウワミズザクラ果樹酒の造り方について、自己流ですがご紹介します。

ウワミズザクラ酒（杏仁香酒）は「あんにご」とも呼ばれ、新潟県下の方言で花の香りからつけられ、花穂を塩漬にした「あんにご漬け」は観光土産にもなっています。

落葉高木で、サクラの名はありますが、花のつき方が普通のサクラと違い、白色 5 弁の小花が密集して房のようになります。

さてレシピですが、専用瓶 or 身近にある空き瓶に果実を 6 割程度、その上に氷砂糖を好みに応じて入れ、ホワイトリカーを氷砂糖の上まで注ぎます。

その手順としては、

- ① 採取した果実を水洗いする
- ② キッチンペーパーで水分を取る→水分はホワイトリカーを傷める
※ 面倒なら、新聞紙に実を広げて乾かしても良い
- ③ 容器に実を入れる→容器に名前と造った年月日を明記
- ④ 氷砂糖を入れ、ホワイトリカーを注ぐ
- ⑤ 冷暗所に保管する
- ⑥ 6 ヶ月で実を取り出して、ろ過する
※ 1 年で美酒となり、美味しく飲めます
※ 採取時期は実が黄色がかった時がよいでしょう
※ 疲労回復、風邪、咳止め、喘息に効くそうですが、医師とご相談ください



そうそう、今年はウワミズザクラの実がほとんど生らず残念ながら断念するしかありませんでした。異常気象のせい？とするところなどにもその影響がでているのですかね。来年はどうなるか分かりませんが、また造れることを楽しみにしています。

(尾形)

チョット脳活・頭の体操 — 2

霞ヶ浦に関する問題で、頭のトレーニングをしましょう

- Q1 水生植物は、水をきれいにする効果があるのですか？
- A 植物は、根から、水・窒素・リンなど生育に必要なものを吸収し、葉から二酸化炭素を取り込み、太陽の光を受けて、光合成して成長します。水辺や水中の植物も同じです。そこで、水生植物に多すぎる窒素・リンを吸収してもらい、吸収した植物を湖の外に取り出す方法で、水中の窒素やリンの量を減らすことができます。
- Q2 汚れを判断する基準には、どのようなものがありますか？
- A 湖・川・排水などがどのくらい汚れているかは、色、臭い、濁り、その中に住んでいる生物の種類などで、ある程度判断できますが、さらに科学的に調べるのは、次のような項目があります。
- P H：水の酸性、中性、アルカリ性を示す数値です。
- COD：湖や海の水の汚れとなる有機物などの多さを示します。水の中の汚れを化学薬品で分解するときに使われる酸素の量です。
- BOD：河川の水の汚れとなる有機物などの多さを示します。水中の微生物が、汚れを餌として取り入れて分解するときに使われる酸素の量です。

『子ども百科 霞ヶ浦ものしり事典 第2版』（社団法人霞ヶ浦市民協会 2007年3月30日発行）から

桜川の風景

先日、桜川の水にふれる機会があり小学生以来の思い出深い桜川の「とある場所」に行きました。土手から眺める風景は、あの当時とそんなに変わっていない気がしましたが、川幅がやたら狭く感じたのは、幼い頃に見た風景との違いかもしれません。そんなことってありますよね。

思えばあれは本当に暑い夏の日でした。近所のガキ大将に連れられた子分7、8人が炎天下の田んぼ道を水着を入れた袋を提げて歩くこと約2時間。やっと着いた桜川の土手、夏草のムンムンする青臭い草いきれの中を駆け下りて、河原に広がる桑畑を突っ切った。開けた河原が泳ぎ場所となっているらしいのです。

水は澄んでいますが、流れがあり、反対側の川辺には白い波が見えます。時折、心地よい川風が身体の汗を奪ってくれますが、すぐ玉のような汗が滲んできます。ガキ大将の合図で、一斉に水着に着替えザブーン、ザブーンと飛び込んでゆきます。私は初めて連れてきてもらったのと、泳ぎができないこともあり、着替えはしたものの、水に入るタイミングがつかめず、まごまごしていると先輩が「ここから入れ!」との声でおそろおそろ水につかりました。

川の中ではみんなが大声を上げて楽しんでます。やがて、水辺にいる私に向かって、ガキ大将が大声で浅瀬を教えてくれ、その方角へ向かうのですが、流れが速くてなかなか進めず、彼のいる川中までたどり着けないでいると、そばまで来て誘導してくれました。しかし、ここからが大変なことになるのです。

川中での私は、つま先立ちの姿勢で流されないよう必死で踏ん張っているのですが、今にも泣き出しそうです。その時つかんでいてくれた大将の手が突然離され、私は身体ごと渦巻く流れの中に押し出されてしまいました。足を着こうにも背丈以上の深さで、川底に届かず、パニック状態です。必死に手足をばたつかせたのですが、水をがぶ飲みするばかりで身体は流され、溺れかけたその時、スーッと浮いたのです。バタつかせていた手足が身体を浮かせてくれたのです。いまだきこんな泳ぎの教え方は考えられませんが、私は、これで泳ぎを覚えました。

遊びの中でも、優しく厳しいガキ大将の「人を育てる」力量を見る思いでした。人や時代は変わりますが、この風景と心意気はいつまでも心に刻み、残していきたいと思います。



桜川のシラサギ

霞ヶ浦入門講座に参加して

5月28日に鹿島浄水場、6月29日に鹿島南部揚水機場で霞ヶ浦入門講座の現地講座が開催され、それぞれ概要説明を受け見学を行いました。

身近にある水利用の施設見学を行うことで、整備までの経緯や運用面の現状課題について理解を深めることが出来、有意義な現地講座でした。

●鹿島浄水場

鹿島浄水場は鹿島工業地帯の造成に対応して1966年に設置されました。

水道用水の一部給水開始は1968年で現在の鹿島・神栖市域が対象になっていました。その後1992年には潮来・行方・鉾田市に給水区域が拡大されました。また、臨海工業地帯に立地する鉄鋼・化学石油・電力などの企業に工業用水を提供しています。

午後は北浦東岸を北上し、「勘十郎堀跡」を見学しました。「勘十郎堀」は宝永年間に水戸藩に起用された松浪勘十郎が東北一江戸間の水運開発のために涸沼―巴川―北浦間に運河掘削事業を進めたもので、その一部が史跡として面影を残しています。

●鹿島南部揚水機場

霞ヶ浦周辺には揚水施設が130ヶ所以上存在しますが、神栖市横瀬地区にある鹿島南部揚水機場は最下流部に位置し、常陸川水門の上流850メートルの地点から農業用水を取水しています。

受益地区は神栖市の南東波崎地区の農地2285ヘクタールです。砂丘地帯で海にも近いため水利用面で苦難が続いた地域ですが国営鹿島南部農業水利事業(1991年完工)により機場が整備され、現在はパイプラインで送られた水で水稻の他、園芸花卉栽培が盛んになりピーマンや千両・若松は全国的に有名です。(中村)

「パートナー情報誌 香澄」原稿募集

常時原稿を募集しておりますので是非ご応募ください。

特にテーマは設けません。パートナー自身のプロフィールやセンターでの活動体験記、身の回りの話題、また俳句・川柳・写真など何でも結構です。

原稿は、センター2階パートナー室の“香澄メールボックス”にお入れください。